

主体的・対話的な深い学びとその評価

第2講 「主体的・対話的な深い学びと学習理論」

久世 均
(岐阜女子大学)

「主体的・対話的な深い学びと学習理論」

【目 的】

**主体的・対話的な深い学びと学習理論の変遷
の関係を理解する。**

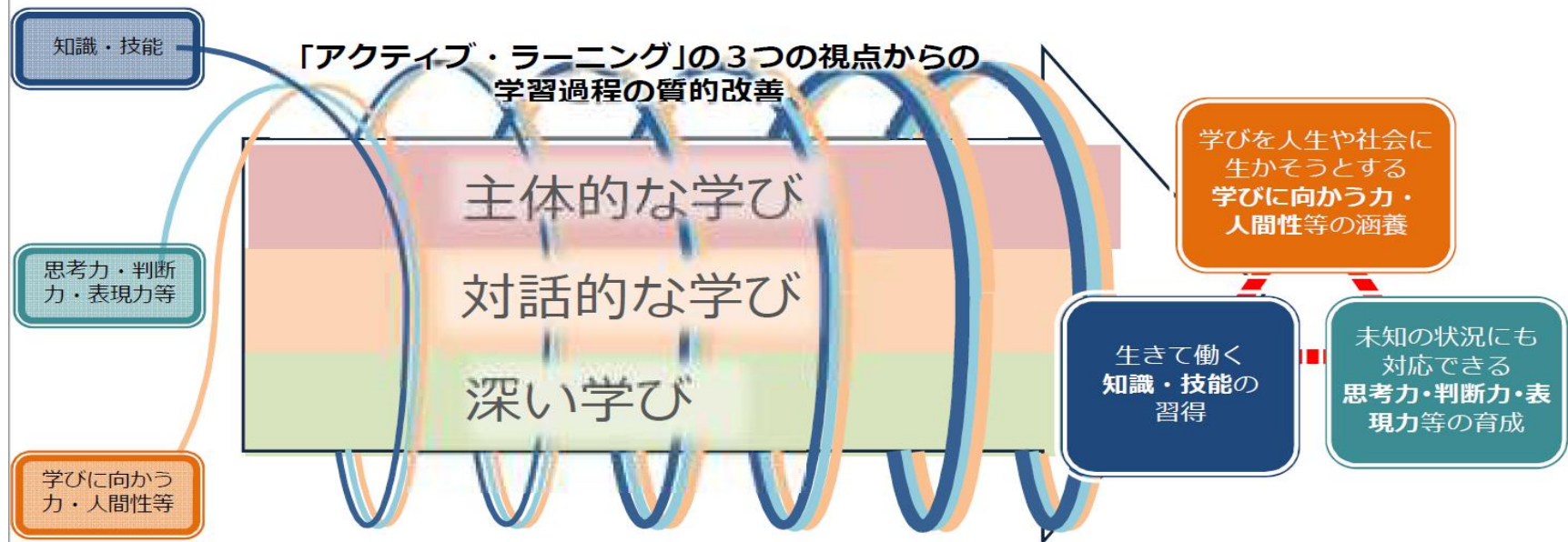
【学習到達目標】

1. 主体的・対話的で深い学びについて具体例を挙げて説明できる.
2. アクティブ・ラーニングと主体的・対話的な深い学びについて説明できる.
3. 主体的・対話的な学びについて学習理論を示して説明できる.

アクティブ・ラーニングの視点

資質・能力の育成と 主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」の視点）の関係（イメージ）

- ◆ 「アクティブ・ラーニング」の3つの視点を明確化することで、授業や学習の改善に向けた取組を活性化することができる。これにより、知識・技能を生きて働くものとして習得することを含め、育成すべき資質・能力を身につけるために必要な学習過程の質的改善を実現する。
- ◆ 資質・能力は相互に関連しており、例えば、習得・活用・探究のプロセスにおいては、習得された知識・技能が思考・判断・表現において活用されるという一方通行の関係ではなく、思考・判断・表現を経て知識・技能が生きて働くものとして習得されたり、思考・判断・表現の中で知識・技能が更新されたりすることなども含む。



※ 基礎的・基本的な知識・技能の習得に課題が見られる場合においても、「深い学び」の視点から学習内容の深い理解や動機付けにつなげたり、「主体的な学び」の視点から学びへの興味や関心を引き出すことなどが重要である。

学ぶとは？

教授・学習理論の変遷

1960年代 **行動主義的学習論**→スキナー (B.F.Skinner)
認知主義的学習論→ピアジェ (J.Piaget)



1980年代 **構成主義的学習論**



1990年代 **社会的構成主義的学習論**
→ヴィゴツキー (Gotsky.L.S)

行動主義的学習論

学習者の刺激に対する反応のみに注目し、学習成立の有無を判断しようとするもので、学習者の心的なプロセスは分析の対象としない学習論



学習者の行動から学習の成立

行動主義的学習論

よくわかりました



わかったのならやってみせなさい

行動主義的学習論

1. 行動主義的

(学習とは、目に見える行動の変化)

◆オペラント条件づけ

偶発的行動に正の強化を与えると

その行動が生起しやすくなる

⇒学習は訓練によってだれにでも身につけさせることができる

◆刺激(Stimulus) > 反応(Response)

行動主義的学習論

プログラム学習--スキナー (B.F.Skinner)

1. スモールステップ (small Step)
2. 自己ペース (self pacing)
3. 即フィードバック (immediately reconfirming)
4. 積極的反応 (active responding)
5. 学習者検証 (student testing)

行動主義的学習論

◆ 行動主義の課題

動物ではうまくいく

訓練式（頭を使わない） 場合はうまくいく

◆ 報酬の問題

＞ 個人

人間は知的好奇心

＞ 自分からかかわりを持とうとする
思考する、考える、創り出す

認知主義的学習論

子どもの学習の成立を発達段階に応じた新たな Schema の獲得と位置づけた。

Schema = 子どもが発達していく段階で外部事象を取り入れるために既存の心的構造



学習とは、頭の中での変化を含む変容、学習のプロセスも含む

認知主義的学習論

■ 人間は同化と調節を繰り返して、物事を理解していく

- 同化とは長期記憶貯蔵庫の中にある情報を組み合わせて、新しい情報を消化すること
- 調節とは、長期記憶貯蔵庫の中にある情報の組み合わせだけでは、消化し切れないときに、長期記憶貯蔵庫の中にある情報を多少変形させたりして、新しい情報を消化すること

認知主義的学習論

学習とは、頭の中での変化を含む変容、学習のプロセスも含む

◆ 認知・発達

-- ピアジェ (J.J.Piaget) (発達心理学)

人間には、もともと好奇心があり、外界に働きかける
学（まな）びはその関わりの中で生じる

◆ 自主的な働きかけ＞ 系からの応答

約束事を理解・対応

ピアジェの同化と調節の考えを基礎

人間の情報処理のメカニズム

構成主義的学習論

構成主義とは、学習者たち一人一人が教えられている対象の概念を組み立てていくように教えるという考えです。



学習者側からの能動的な学習観を提唱

構成主義的学習論

◆ 学習を「受動的なもの」から「能動的なもの」として捉え直す

◆ 人は自らのいる環境で回りにある材料を使って行動する過程で自らさまざまな概念や知識を学び取るのである

◆ 「学習は個人の活動であり、学習の効果は個人の能力として評価される」という学習観

構成主義的学習論

【学校】

人の手を借りてテストを受けるのはカンニング



【社会】

他人に知恵を借りたり、お互いにできない部分を補いあったり、得意な部分を活かしあったりして、仕事を達成している。

社会構成主義的学習論

学校教育における教師の役割や子どもの協同的な活動の中に、子どもの発達に関わる意義を見いだした。



「発達の最近接領域」論

行動主義学習論と認知主義的学習論

【まとめ】

① 行動主義的（学習とは、目に見える行動の変化）

- ・短期的で、トレーニング性の強いもの
- ・考えずにできるようになる（ルーチン）
- ・習慣的なりテラシーパフォーマンス、ペーパーテスト

② 認知主義的（学習とは、頭の中での変化を含む 変容、学習のプロセスも含む）

- ・問題解決型の学習判断力
- ・未知の問題への挑戦力見抜く目
- ・読解力・科学的思考
新しい方法、評価観

課 題

1. 主体的・対話的な深い学びの授業をデザインするために必要なことを纏めて説明しなさい。
2. 学習理論から主体的な学びと対話的な学びについて説明しなさい。